

後援会だより

支部長懇談会報告



後援会副会長
とまつ
戸松 みゆき
(駿希/社会学部)

5月31日(金) 17時よりボアソナード・タワー26階スカイホールにおいて支部長懇談会が開催されました。これは年に2度の支部長会議の前日に行われるもので、全国の支部長並びに役員が一堂に会して、各支部の活動報告や交流の場となることから、自由参加でありながら毎回多くの支部の方が出席されます。

今回は「今期の支部総会・父母懇談会準備にあたっての意見交換」をテーマに8支部からの活動報告がありました。

新入生父母の集いを行った3支部からは、どうすれば多くの方に集まっていたりかななどの工夫や新入生役員を選出する難しさ、また参加された新入生父母からの喜びの声をとお話いただきました。

7・8月の支部総会で10周年の記念行事を控えている四国4支部からは、準備状況及び企画内容などを報

告していただきました。

東海支部の報告は大変心のこもったオリジナルのDVDでした。「箱根駅伝応援ツアー」と題されたドキュメンタリータッチの作品で、テロップに笑い、BGMにマッチした選手の写真や姿や懸命な応援映像に感動し、多くの共感を持つことができました。

支部活動における課題や後援会本部・事務局への要望など、各支部から活発な意見が交わされ、短いながらも大変有意義な時間になりました。



支部長会議報告



後援会顧問
かけすのぶき
掛巢 信樹

6月1日(土) ボアソナード・タワー26階スカイホールにおいて、支部長会議が開催されました。36支部86人の支部長・支部役員が出席されました。

徳安彰常務理事・渡邊秀雄後援会長のご挨拶の後、議事に入りました。最初に、昨日の支部長懇談会における各支部からの報告内容の説明を行い、2012年度の支部活動報告書については、「新入生父母の集い」「支部総会・父母懇談会」の開催にあたって、各支部が会議を充実したものとするために、いかに創意工夫されたかについて説明を行いました。

続いて、「支部活動・運営に関する提案」として、校友連合会との懇談会費の趣旨説明を行い、昨年の支部長会議におけるグループ別懇談会で提案された支部総会の運営についての意見を報告し、2013年度後援会事業計画・予算概要についての

説明が行われました。

年度もかわり、支部総会開催の準備等でお忙しいとは思いますが、支部活動、そして後援会活動の活性化のために、今後とも皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



総会報告



後援会顧問

うえくさ しげのぶ
植草 茂伸

6月1日(土)、外濠校舎薩埵ホールにおいて、2013年度法政大学後援会総会が開催されました。総会には、来賓として桑野秀光校友連合会会長、池上孝三後援会クラブ会長、森本靖一郎関西大学常任顧問をお迎えし、本部役員、全国36支部の支部長、支部役員、一般会員の皆様が出席されました。

渡邊秀雄後援会長の挨拶に続き、桑野校友連合会会長、池上後援会クラブ会長よりご挨拶をいただいた後に、議事の審議に入りました。

議事では、2012年度事業報告・決算(案)、2013年度事業計画(案)・予算(案)、2013年度役員改選の議案が審議され、質疑を行い、全議案が承認されました。

2013年度も東日本大震災で被災された学生への支援を引き続き実施いたしますが、支援対象となる学生数が減少してきているため、2012年度の実績に合わせて減額した予算となっています。また、震災ではありませんが、家計の急変により奨学金を申請する学生が増えていくという学生支援統括本部からの報告に基づき、後援会奨学基金の積

み増しを実施するための予算が計上されています。

また、2013年度の卒業生から全員が卒業生組織である校友連合会に入会することになるため、校友連合会と後援会との連携が今まで以上に重要となることから、各支部において校友連合会との懇談会を行うための費用が新たに2013年度予算に計上されています。

役員改選では、2013年度の新役員として各学年からそれぞれ幹事22人が選出され、その中から千葉大後援会会長をはじめとして副会長、総務、常任幹事が選出されました。さらに、2012年度に顧問をしてくださった方々から監査2人が選出されました。千葉新会長の就任挨拶に続き、相談役、顧問の委嘱についての報告も行われました。

最後に渡邊2012年度会長から、学生支援への熱い思いを込めた法政大学のオレンジの「襷」が千葉新会長へ引き継がれ、総会は滞りなく終了しました。



2013年度 法政大学後援会運営委員



(写真前列左から)

戸松みゆき 副会長、齊藤信幸 副会長、千葉大一 会長、榊純一 副会長、相原啓子 総務

(後列左から)

佐久間貴子 総務、鶴巻義久 総務、柳田明彦 総務、高坂信貴 総務、池田隆 総務、鶴田善徳 総務、鈴木聖子 総務

2013年度 後援会役員

監査	1年	2年	3年	4年	幹事	2年	3年	4年	常任幹事	総務	副会長	会長
奥山孝夫 丸山咲子 永野恵美 祖父江一仁 赤木修 水野深雪 高沢香苗 飯高靖子 戸口千章 小椋敏正 高浦真理子 飯篤仁 高浦真理子 小林章 熊田敏文 石原秀子 相原啓子 鈴木聖子 齊藤信幸 榊純一 千葉大一	宮崎伸一 仲山千秋 高岡知子 秋山太史 森中貴恵子 竹野優子 近藤清司 畑中雅子 河西敏靖 富澤忍 小出寛子 中村恵吾 栗田敬子 小島優子 高坂信貴 佐久間貴子 戸松みゆき	森田恵子 西野佳和 中原義郎 作本武 三神尚長 小杉理恵 福井修 細谷智美 酒井裕之 鶴田善徳 鶴巻義久 池田隆 池田隆	米丸英一 馬場富親 高橋清美 岩田京介 佐藤弥生 中山麻里 齋藤昌夫 松野秀雄 櫻井秀紀 永井勝典 柴田康宏 柴田明彦 柳田明彦	平山智子 滝本智華 小野由紀子 菅原純子 山田豊美 佐々木幸男 松橋敦子 山田昌之 博田裕代 渡辺菜穂子 山下奈穂美 菅原明博 山下奈穂美 渡辺菜穂子 渡辺菜穂子	柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男	柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男	柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男	柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男	柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男	柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男 柴田悦男		

体育会応援21「スケート部」

親からのメッセージ



すずき きみこ
鈴木 希美恵
(世奈/スポーツ健康学部)

1998年長野冬季オリンピック以来4大会ぶりのオリンピック出場を目指して(2月7日~10日)ソチ冬季オリンピック・アイスホッケー女子最終予選がスロバキアのポプラドで開催されました。オリンピック出場権をかけた激しい戦いが続きましたが、見事に女子日本代表チームはソチ行の切符を手に入れることができました。

初めてのことでありますが、日本の全試合の様子がテレビで生中継され日本代表の一員として出場させていただいた娘のプレーを見ることができました。

優勝した瞬間は、この日が来るまでの長い年月の努力の日々が目に思い浮かび、涙が止まりませんでした。娘がアイスホッケーを始めたきっかけは、女の子ということもあり3歳からはフィギュアスケートを履かせていたのですが、3歳上の兄がアイスホッケークラブに所属していたので、兄の練習などを見ているうちに自分もやってみようかなと思っただけで、兄の練習などを見ているうちに自分もやってみようかなと思っただけで、アイスホッケーをやりたいと言いつつ、母親の私だけが内心反対していました。女の子なので女の

子らしくと思いピアノを幼少期から習わせていましたが、小学校1年生の時に突然、父親に「勉強とアイスホッケー頑張るからピアノ教室だけはやめさせてください」と頼んでいただくこともありました。(笑)

そこから、娘のアイスホッケー人生は始まっていったんですね。

小学校では男子と一緒に練習を行い試合にも出場できるのですが、中学校からは女子は試合に出場できないために活動はできず、中学・高校は地元の女子クラブチームに入つてプレーをしていました。

高校3年生になって大学進学は決めていましたが、どこの大学を受験するかを悩んでいた時に当時、法政大学に通っていた兄に相談をしていたように、法政大学にスポーツ健康学部が開設されるという話を聞き、将来はトレーニンングをサポートする指導士になりたいという夢もあった



世奈6歳 早来町リンク(現在 せい子ドーム)にて



大学3年 ソチオリンピック予選前合宿中時の練習試合のとき

ので、オープンキャンパスに参加して見学させていただき、自分が学びたい学校だと実感して帰ってきました。

無事に法政大学に入学が決まり、と同時に法政大学スケート部にも所属させていただき試合には出られませんが、オフの時は男子部員と一緒に氷上練習に参加したり、部員のサポートなどもお手伝いし、毎年アメフト部との合同陸上トレーニングにも参加させていただきました。女の子を忘れてたくましい限りです。

北海道を離れ早いもので4年目になります。法政大学に進学して、たくさんの方々に支えられていることに感謝しております。

これからの娘の人生において、この出会いは一生の財産だと思っております。

「2014年2月7日~23日ソチ冬季オリンピック(ロシア・ソチ)」このオリンピックの出場にむけての日本代表のメンバーに選ばれるために、既にサバイバル合宿が5月か

ら始動し、休む暇もなく自分の夢を実現するために強い気持ちを持ち日々励んでいます。

法政大学の一人として、出場を目指すオリンピックは、来年2月ソチで開催されます。お世話になった大学関係者や友人のために全力で努力し、日本代表のユニホームを着てオリンピックの舞台に立つてほしいと願っています。

「携帯メール情報」の配信案内

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。六大学野球、ラグビーや箱根駅伝などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人一人の力は小さくても、一致団結して盛り上げて行きましょう。配信ご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン 配信希望」とお書きになり、登録されるメールアドレスをお送りください。



koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp

後援会ウェブサイトのご案内

<http://www.hosei-koenkai.org/>

また、法政大学のウェブサイトを開いていただき、インデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。是非一度ご覧になってみてください。

